

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第1区分  
 【発行日】令和4年11月28日(2022.11.28)

【国際公開番号】WO2020/095058  
 【公表番号】特表2022-506836(P2022-506836A)  
 【公表日】令和4年1月17日(2022.1.17)  
 【年通号数】公開公報(特許)2022-007  
 【出願番号】特願2021-524445(P2021-524445)  
 【国際特許分類】

10

C 1 2 N 5/0783(2010.01)

C 1 2 N 1/02(2006.01)

A 6 1 P 35/00(2006.01)

A 6 1 P 31/12(2006.01)

A 6 1 P 31/18(2006.01)

A 6 1 P 31/22(2006.01)

A 6 1 K 35/17(2015.01)

【F I】

C 1 2 N 5/0783

C 1 2 N 1/02

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 31/18

A 6 1 P 31/22

A 6 1 K 35/17 A

20

【手続補正書】

【提出日】令和4年11月15日(2022.11.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

30

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

非造血組織試料からのリンパ球の単離方法であって、

(i) 該非造血組織試料を

(a) インターロイキン-2(IL-2)又はインターロイキン-9(IL-9)；

(b) インターロイキン-15(IL-15)；及び

(c) インターロイキン-21(IL-21)

40

の存在下で培養する工程；並びに

(ii) 該非造血組織試料から培養されたリンパ球の集団を回収する工程

を含む、前記方法。

【請求項2】

前記非造血組織試料の培養物から回収されたリンパ球の集団が、T細胞の集団を含む、請求項1記載の方法。

【請求項3】

工程(i)が、前記非造血組織試料をインターロイキン-4(IL-4)の存在下で培養することをさらに含む、請求項1又は2記載の方法。

【請求項4】

50

前記非造血組織試料の培養物から回収されたリンパ球の集団が、 T細胞の集団又はNK細胞の集団を含む、請求項1記載の方法。

【請求項5】

前記非造血組織試料が、血清又は血清代替品を含有する培地中で培養される、請求項1～4のいずれか一項記載の方法。

【請求項6】

前記非造血組織試料が、無傷の生検である、請求項1～5のいずれか一項記載の方法。

【請求項7】

前記非造血組織試料が、皮膚、胃腸又は消化管である、請求項1～6のいずれか一項記載の方法。

10

【請求項8】

前記方法が、ガス透過性材料を含む容器中で実施される、請求項1～7のいずれか一項記載の方法。

【請求項9】

前記V 1 T細胞の集団が、CD27を発現し、かつ/又はTIGITを実質的に発現しない、請求項2～8のいずれか一項記載の方法。

【請求項10】

前記V 1 T細胞の集団が、

- (i) 80%未満の頻度のTIGIT+細胞を有する；
  - (ii) 10%超の頻度のCD27+細胞を有する；又は
  - (iii) (i)と(ii)の両方である、
- 請求項2～9のいずれか一項記載の方法。

20

【請求項11】

前記単離されたリンパ球又は T細胞の集団を拡大することをさらに含む、請求項1～10のいずれか一項記載の方法。

【請求項12】

前記拡大工程が、前記単離された T細胞の集団を、

- (a) IL-2又はIL-9；
- (b) IL-15；及び
- (c) IL-21

30

の存在下、拡大された T細胞の集団を産生するのに有効な量で、少なくとも5日間培養することを含む、請求項11記載の方法。

【請求項13】

前記単離された T細胞の集団をIL-4の存在下で培養することをさらに含む、請求項12記載の方法。

【請求項14】

前記拡大工程が、前記単離されたリンパ球又は T細胞の集団を、

- (i) 血清又は血清代替品を含有する培地中；
- (ii) 実質的な間質細胞接触の非存在下；
- (iii) 外因性TCR経路アゴニストの非存在下；又は
- (iv) (i)～(iii)のいずれかの組合せ

40

で培養することを含む、請求項11～13のいずれか一項記載の方法。

【請求項15】

請求項1～14のいずれか一項記載の方法によって得られる、単離されたリンパ球集団。

50